



令和6年度

7月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和 6年 6月 28日



三大幼 HP は
こちらから



自然に触れて育つ自信

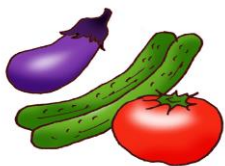
園長 安田 徳章

先日、ある年長児の姿にびっくりすることがありました。ある日の園庭で、年中児の一人が地面を歩いているテントウムシを見付け、大きな声で「テントウムシがいる！」と言いました。しかし、その年中児は自分では触れられずに、「テントウムシ、捕まえて！」と繰り返し言っています。すると、近くにいた年長児がスッと手を伸ばしてあっという間に捕まえてしまったのです。実はその年長児は、昨年度のこの時期は、それこそアリを触ることもおっかなびっくり、というような手つきだった幼児なのです。ためらいもなくテントウムシを捕まえる動きの素早さと自信たっぷりの表情に、一年の経験の積み重ねの大きさを改めて感じた瞬間でした。

本園では、直接自然に触れる体験を通して、様々に気付き、感じ、考えるなどの体験を豊かに積み重ねられるようにすることを大切にしています。6月中に行われた、「自然発見体験会」「育てたピーマンやナスを食べる」「ジャガイモの収穫(どのように調理して食べるか年長児が現在相談中)」「フラワーロード」などの他、毎日のように昆虫や草花などの自然物に触れる中で、諸感覚を豊かに働かせているこどもたち。感性を豊かにしながら、思考力や感じたことを友達に伝える表現力など、多様な力を育てています。冒頭の年長児は、自然に触れる中で総合的に力を伸ばし、自己肯定感も感じていることが読み取れるとっても素敵な笑顔でした。幼稚園で自然に触れるこどもたちの様子は、ホームページ等でも紹介しています。どうぞご覧ください。

今年度も土曜参観後に、沢山の保護者の方のお力をいただいてプールを組み立てることができました。おかげさまで、こどもたちは水にたっぷり触れ、夏ならではの体験を満喫しています。ありがとうございました。水に触れる体験からも多様な学びが期待できます。

7月21日からは夏休みが始まります。ご家庭でも、早朝の公園や林に出掛けたり、夕暮れに川沿いを歩いたりするなど、身近な公園や帰省先などで、様々な自然に触れる時間を大切にしたいと思っています。お子さんの素敵な笑顔にたくさん出会えますように。



今月の指導のポイント



年中りんご組

プール遊びが始まり、着替えや身の回りの始末に進んで取り組んでいるこどもたち。晴れた日には、プールに入れることを楽しみにしています。学級のみならずプールの中で変身ごっこや学級で楽しんでいる手遊び、リズムをしながら、水の気持ちよさを感じています。顔に水がかかることに抵抗があるお子さんも、楽しい雰囲気の中で活動に取り組めるようにしています。また、プール遊びの決まりや約束が分かり、守りながら安全に遊べるようにしていきます。引き続き、色水遊び、シャボン玉遊びなど、夏ならではの遊びを楽しめるようにしていきます。

もうすぐ、こどもたちにとって初めての夏休みが始まります。夏休みに入る前にみんなでピカピカ大作戦！をし、遊びや生活の場をきれいにする大切さや気持ちよさが感じられるようにしていきます。

年長にし組

今年度もプール遊びが始まり、昨年度の経験を思い出し、水遊びのきまりを守り遊ぶ姿が見られます。引き続き、水に触れる気持ちよさを味わい、自分なりのめあてに向かって取り組めるようにしていきます。

遊びでは、シャボン玉作りや船作りなどを楽しむ様子が見られます。自分なりに工夫したり繰り返し試したりして遊ぶことが十分にできるように、こどもたちの思いや考えを支えていきます。

学級で育てている野菜の花が咲いたり、実がなったりすることに気付き、収穫して調理方法を考えて会食します。ジャガイモの収穫では、数を数えたり調理方法を相談したりしました。自分たちで調理にも取り組んでいきます。

夏休み前には、保育室や砂場の遊具など、自分たちが使った遊びや生活の場を整理整頓し、きれいになる心地よさを感じながら、期待をもって夏休みを迎えられるようにしていきます。